



## 新連載

自動車リサイクル業界を  
担うホープ(23)

名前:藤田 享(ふじた とおる) (50歳)

所属:有限会社二協自動車商会  
(北海道函館市)

担当:生産部主任

特技:提唱者型

MBTI:論理学者型(成長意欲が旺盛で相手の本音や背景を汲み取る力に優れているため、周囲へのサポートや理念に基づいた深い仕事が得意。)

- 仕事で誰にも負けない部分  
目標に向かって努力し続けられるところ
- この業界の魅力を一言で  
資源の再利用で社会貢献が出来ること
- 将来の業界への期待  
これまで以上に未来のために伸びていく業界でいて欲しいと思います。

※MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

## INDEX

【連載】自動車リサイクル業界を担うホープ/巻頭言 —— P.1

新自動車リサイクルシステムよくあるご質問をまとめました —— P.2.3.4

未来部会勉強会のご案内/JAERA 会議報告 — P.5

1月新車販売台数・使用済自動車発生台数・輸出返還台数 — P.6

賛助会員の紹介/賛助会員募集のお知らせ —— P.7

鉄スクラップ最新情報 —— P.8

活動予定・お知らせ / 編集後記 —— P.9

## 巻頭言

広報部会

木村 香奈子

我が家でもこの春、二人の子どもが卒業を迎え、四月には新たな入学を控えています。別れと出会いが重なる三月は、これまでの歩みを振り返り、次への備えを整える大切な時期です。

業界にとっては一年で最も忙しい繁忙期を迎えますが、使用済み自動車の排出台数は年々減少しており、今年の三月の動向を的確に捉えていくことが求められます。EV化の進展、資源価格の変動、環境対応の高度化など、取り巻く環境は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、日々の業務の意義を改めて見つめ直し、一つひとつの工程を着実に磨いていくことが重要です。積み重ねた現場の力こそが、業界の未来を支える礎となるよう、もう一步踏み出す春にしたいと思います。

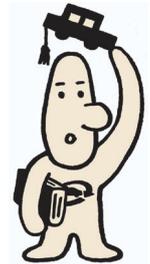
## 02

## 新自動車リサイクルシステム —よくあるご質問をまとめました—

### JARC様よりご提供「よくある質問（FAQ）」を掲載

本年1月より、自動車リサイクルシステムが新しくなりました。制度変更に伴い、（公財）自動車リサイクル促進センター（JARC）のコンタクトセンターには現在多くのお問い合わせが寄せられているとのことです。体制の強化も進められておりますが、時間帯によってはお電話が繋がりにくい場合もあるようです。

そこで今回、JARC様よりご提供いただいた「よくある質問（FAQ）」を掲載いたします。お問い合わせの前に一度ご確認くださいことで、手続きをよりスムーズに進めていただける内容となっております。日々の業務の合間に、ぜひご確認ください。



【自動車リサイクル博士】

### コンタクトセンターにあるよくあるご質問（移動報告関連①）

#### Q. 解体自動車（廃車ガラ）の輸出をする際、税関に提出する旧システムの「JMES3120」と同等の画面を印刷したい

A. 新システムでは「JMES3110」が同等の画面となります。印刷画面の表示方法は、下記をご参照ください。

操作動画：自社取扱車台の確認画面の印刷

マニュアル：電子マニフェストシステム詳細マニュアル解体工程編

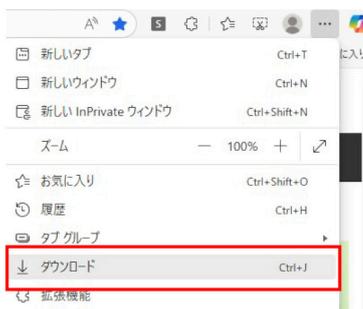
7.3 使用済自動車／解体自動車に関する移動報告状況の閲覧

#### Q. 「使用済自動車引取証明書」の印刷を忘れたり印刷に失敗した場合、再度印刷したい

A. 新システムでは「センターへ報告＞続行」ボタン押下後、使用済自動車引取証明書のダウンロードが自動的に開始されますので、使用済自動車引取証明書が保存されているかご確認ください。確認方法は、以下を参照ください。

① ブラウザーの「…」>ダウンロードを選択

② ダウンロードされた引取証明書が表示される



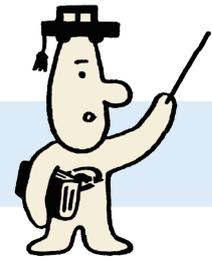
ダウンロードされたPDFファイルが保存されていない場合は、  
「引取証明書（手書き用）」のフォームをご利用ください。

#### Q. 確認通知が出ている車台があり、いま引取報告（引渡報告）を行ったが、確認通知が消えない

A. 引取報告（もしくは引渡報告）を実施した翌日に反映されるようになっております。

## ■ コンタクトセンターにあるよくあるご質問（移動報告関連②）

### Q. フロン類やエアバッグ類の装備情報を修正する方法を教えてください



A. 下表にて修正手順を確認し、装備情報を修正してください。

※引取業者は、フロン類・エアバッグ類の装備を確認したうえで、正しく移動報告を行う義務があります（虚偽報告は法令違反になります）。

#### 【引取工程の引渡報告未実施の場合】

修正内容	詳細マニュアル 引取工程編	操作動画
フロン類装備の有無を修正する ・[有→無] に変更する ・[無→有] に変更する (フロン類のリサイクル料金預託済)	6.1.1 フロン類装備および エアバッグ類装備の有無を 修正する場合	装備情報の修正 ①フロン類とエアバッグ類 の装備有無を修正する場合
エアバッグ類装備の有無を修正する ・[有→無] に変更する ・[無→有] に変更する (エアバッグ類のリサイクル料金預託済)		
フロン類・エアバッグ類装備の有無を修正する ・[無→有] に変更する ( [有] にしたいフロン類・エアバッグ類の リサイクル料金が預託されていない場合)	6.3 追加預託が必要な装備 情報の修正(フロン類装備・ エアバッグ類装備)	
フロン類種別を修正する ・[CFC→HFC] または [HFC→CFC] に変更する	6.1.2 フロン類種別を修正 する場合	装備情報の修正 ②フロン類種別情報のみを 修正する場合

#### 【引取工程の引渡報告実施済みの場合】

修正内容	詳細マニュアル 引取工程編	操作動画
フロン類装備の有無を修正する ・[有→無] に変更する ・[無→有] に変更する (フロン類のリサイクル料金預託済)	7.1 使用済自動車の引渡報告 の取消  6.1.1 フロン類装備および エアバッグ類装備の有無を 修正する場合	使用済自動車の引渡報告の 取消  装備情報の修正 ①フロン類とエアバッグ類 の装備有無を修正する場合
エアバッグ類装備の有無を修正する ・[有→無] に変更する ・[無→有] に変更する (エアバッグ類のリサイクル料金預託済)	6.2.2 解体業者からの依頼 でエアバッグ類装備の有無 を修正する場合	装備情報の修正 ①フロン類とエアバッグ類 の装備有無を修正する場合
フロン類・エアバッグ類装備の有無を修正する ・[無→有] に変更する ( [有] にしたいフロン類・エアバッグ類の リサイクル料金が預託されていない場合)	7.1 使用済自動車の引渡報告 の取消  6.3 追加預託が必要な装備 情報の修正(フロン類装備・ エアバッグ類装備)	使用済自動車の引渡報告の 取消  装備情報の修正 ①フロン類とエアバッグ類 の装備有無を修正する場合
フロン類種別を修正する ・[CFC→HFC] または [HFC→CFC] に変更する	6.2.1 フロン類回収業者か らの依頼でフロン類種別を 修正する場合	装備情報の修正 ②フロン類種別情報のみを 修正する場合

## CONTACTセンターにあるよくあるご質問（登録許可・業者登録関連）

### Q. 今まで自動車リサイクルシステムで更新操作を行っていたが、新システムではどのように行えばよいのか

- A. 2026年1月以降、事業者様での自動車リサイクルシステム上の更新操作は不要となりました。自治体へ更新申請したのに更新されていない場合、自治体での更新処理が未完了の可能性がります。更新状況については所管の自治体へお問い合わせください。

### Q. 自動車リサイクルシステムの登録情報を変更したい

- A. 新システムでは、ご自身で変更登録ができます。ログイン画面の右上のアイコンから「事業者情報管理」をクリックし、事業者の登録情報の確認および変更を行うことができます。詳しくは[自動車リサイクルシステム詳細マニュアル共通操作編](#)や[操作説明動画（登録情報変更）](#)をご覧ください。変更する項目によっては、変更完了まで数日がかかります。



- CONTACTセンターにて自治体発行書類との照合確認が必要な項目  
事業者名、事業者の代表者名、事業者の所在地、事業所名、事業所の所在地、業種、自治体登録・許可番号、自治体登録・許可期限、引取業の口座情報

- 即時変更となる項目  
電話番号や担当者情報など、自治体への登録・許可に関係ない項目

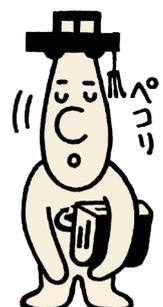
変更手続き完了後、登録されたメールアドレスへ完了通知メールが届きますのでご確認ください。

なお、自再協や各チームと契約を締結されている場合は、該当法人に別途ご連絡ください。

### Q. 事業所ユーザー ID と事業者ユーザー ID の違いは何か

- A. 主な違いは次のとおりです。
- 事業所ユーザー  
主に移動報告などの実務を行うためのIDです。
  - 事業者ユーザー  
事業所を含む事業者全体を管理するためのIDです。  
利用明細書、フロン類・エアバッグ類支払明細書等のダウンロードが可能です。

自動車リサイクルCONTACTセンター  
電話番号：050-3786-7755  
営業時間：9:00 ～ 18:00（土日祝日を除く）



03

【3/2 締切】

## 採用力強化と人材定着の実践セミナー（JAERA 会員限定）

## 会員限定WEB勉強会、申込締切は3月2日（月）まで

JAERA 未来部会より、会員限定WEB勉強会のご案内です。本勉強会につきましては、既にご案内しておりますが、改めてのご案内となります。

慢性的な人手不足、若手社員の早期離職、増え続ける採用コスト。こうした課題に、場当たり的な対応になっていないでしょうか。本セミナーでは、「採用」と「定着」を経営課題として捉え直し、労務管理の視点から体系的に整理。解体業界の実情を踏まえながら、「選ばれる会社」になるための具体的な取り組みや、すぐに実践できるポイントを分かりやすく解説します。経営者・管理職・人事労務ご担当者の皆様に、ぜひご参加いただきたい内容です。

開催は3月4日（水）15時から、Zoomによるオンライン形式。参加費は【無料】です。

申込締切は3月2日（月）17時まで。ニュースレター配信後すぐの締切となりますので、ご関心のある方はお早めにお申込みください（先着100名）。今後の人材戦略を見直す機会として、ぜひご活用ください。

参加無料 & オンライン開催

jaera JAERA未来部会主催  
自動車解体業界 経営者・管理者向け  
採用力強化と人材定着の実践労務セミナー

講師 大江 広満 自動車解体業界の人事労務のスペシャリスト  
慢性的な人手不足、若手が定着しない、採用コストが増え続ける。こうした経営課題に挑戦する「採用」と「定着」を、労務管理の視点から体系的に解説。現場任せにしない、選ばれる会社づくりの具体策を学びます。JAERA会員企業の皆様ぜひこの機会にご参加ください。

参加費 無料  
開催日時 2026年3月4日(水) 15:00~16:30  
開催形式 Zoomによるオンラインセミナー  
対象 JAERA会員企業限定  
(経営者・管理職・人事労務担当者のみ参加いただけます)  
申込締切 2026年3月2日(月) 17:00まで(先着100名)

お申込みはこちらから  
<https://forms.office.com/r/cjpu9Nlm6A>  
お申込み後、参加URLをお送りいたします。  
PC・スマホから簡単に参加いただけます。  
QRコードからも参加いただけます！

お問い合わせ先：JAERA事務局 03-3513-5181 | jaera-form@page.tn.tn.jp

申込はこちらから

04

## JAERA 活動報告

## 沖縄ブロック会議 —ブロックにおける連携強化と課題共有を確認—

2026年2月13日（金）、沖縄市産業交流センター（沖縄県沖縄市）において「第3回沖縄ブロック・支部会議」を開催し、会員・賛助会員など25名が出席した。機構本部から阿部専務理事が出席し、松田ブロック長の開会挨拶に続き、JAERAが合同審議会で要望している事項や、使用済自動車を巡る最新動向について報告を行った。

意見交換では、リチウムイオンバッテリーの処理方法について説明があり、実務上の留意点を共有した。また、JAERA 貴金属類共同出荷事業への協力依頼、電動キックボードの引取に関する情報提供、外国人経営事業者に関する情報共有など、沖縄ブロック特有の課題について率直な議論が交わされた。今後も本部と連携し、適正処理の徹底と会員相互の連携強化を図っていくことを確認した。



会議の様子

## 近畿ブロック会議 —制度動向と地域課題を協議—

2026年2月19日（木）、貸会議室ユーズ・ツウ（大阪府大阪市）において近畿ブロック会議を開催した。当日は機構本部から種谷副代表が出席し、赤松ブロック長の進行のもと、本部報告および地域ごとの情報交換を行った。また、近畿経済産業局資源エネルギー環境部環境・資源循環経済課より来賓の出席もあり、行政の動向についても共有された。本部からは合同審議会でJAERAが要望した事項、使用済自動車を巡る状況、資源回収インセンティブ制度の状況について説明があり、制度見直しの方向性や今後の対応のポイントについて理解を深めた。各地域からは現場における具体的な課題や取組事例が報告され、実務に即した活発な意見交換が行われた。こうした議論を踏まえ、現場対応力の向上と広域的な情報連携の強化を図るとともに、会員相互のネットワークをさらに深化させていく方向性を確認した。



会議の様子

05

1月新車販売・使用済自動車発生台数・中古車輸出に係る返還台数

2026年1月の台数動向

— 三指標そろって前年割れ、年初は抑制的なスタート

■2026年1月度 新車販売台数 367,752台 (前年同月比97.7%)

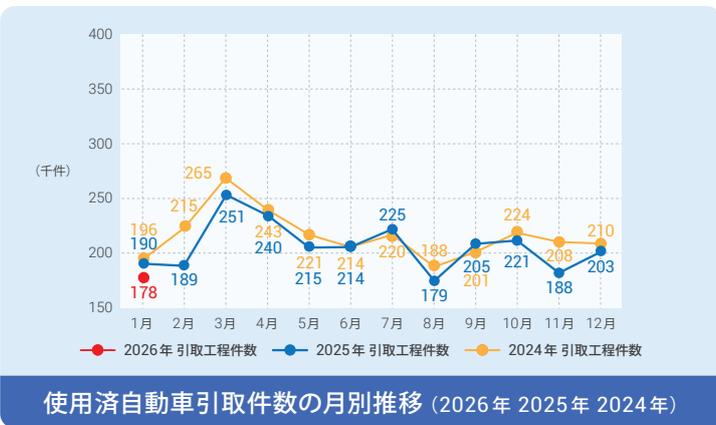


年累計	台数 (台)	前年比 (%)
2026年 (1月まで)	367,752	97.7
2025年	4,565,777	103.3
2024年	4,421,494	92.5
2023年	4,779,086	113.8
2022年	4,201,320	94.4

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■使用済自動車引取 (電子マニフェスト) 実施状況

2026年1月度 引取工程 177,801件 (前年同月比93.6%)



年累計	件数 (件)	前年比 (%)
2026年 (1月まで)	177,801	93.6
2025年	2,519,062	97.2
2024年	2,607,112	95.5
2023年	2,731,329	98.6
2022年	2,769,122	87.5

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

■中古車輸出に係る返還台数※

2026年1月度 139千台 (前年同月比85.8%)

※中古車の輸出に伴い、預託していたリサイクル料金を返還した台数



年累計	台数 (千台)	前年比 (%)
2026年 (1月まで)	139	85.8
2025年	1,656	100.7
2024年	1,644	111.0
2023年	1,481	115.7
2022年	1,281	95.5

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

## 06

## JAERA 賛助会員の紹介

### — 太洋商事株式会社 —

当社は1961年の創業以来、半世紀以上に渡り高圧ガス及び関連商品の製造販売事業を通じて地球環境の保全に貢献してまいりました。本社は名古屋市にあり、現在は千葉県、岐阜県に営業所を設け活動しております。

特にフロンガスについては、販売から回収・再生処理又は破壊処理までを一気通貫で手掛けるパイオニア企業として全国規模で展開しております。フロンガスは大気に放出した場合、オゾン層の破壊や強力な温暖化ガスとなり、地球環境に悪影響をおよぼします。これを背景に、現在モントリオール議定書で締結されたキガリ改正をうけ、世界的にフロンガスについて非常に厳しい生産（輸入）規制が行われております。



当社は上記の状況になる以前より、フロンガスを貴重な資源と捉え、冷凍空調機器の整備修理、廃棄時には正しくフロンを回収し、フロンガスを再生処理（資源化）する活動に長年取り組んでまいりました。

それらのノウハウを基に、フロンガスの大気放出が日常的に行われているASEAN圏において、2016年にはマレーシア、2023年にはインドネシアでJICA事業をおこない、フロンガス回収、再生処理事業の取り組みを啓蒙、導入してまいりました。

現在ではASEAN圏において、複数の大手邦人企業とともにフロンガス再生ネットワークを確立しております。また、マレーシアでは現地法人を設立し、活動を拡大しております。これら国内外での啓蒙と企業努力の結果、再生されたフロンは、新品と変わらない品質のものを提供することができるようになり、フロンガス価格が高騰する中で再生フロンを一つの選択肢として持てるようになりました。

この度JAERAの賛助会員なり、カーエアコンや、車載冷凍冷蔵機などから排出されるフロンガスの適正処理を行うことで、地球環境保護の一助になれるよう努力をしてまいります。会員企業の皆様今後ともよろしくお願いいたします。

## 07

## 賛助会員募集のお知らせ

JAERA（日本自動車リサイクル機構）は、使用済自動車の適正処理と自動車リサイクル部品の活用普及によって地球環境保全を推進し、社会に貢献することを目的に活動しています。

近年、自動車解体業界はカーボンニュートラルや資源循環などで注目を集めており、多くの方々に賛助会員としてご賛同いただいております。

賛助会員になると、最新の業界情報、取り組み成果、イベント案内や会社PRサービスなどを受けられ、リサイクル推進の一翼を担うことができます。持続可能な未来のため、皆様のご参加をお待ちしています！

申込は[こちら](#)から



## 08

## 鉄スクラップ最新情報

[ 提供：日刊市況通信社 ]

## 2月第4週（24日）の鉄スクラップ動向



## 2月24日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	44,000 ~ 45,000	値上がり
	南関東	44,000 ~ 45,000	値上がり
	浜値	44,500 ~ 45,500	値上がり
名古屋		44,000 ~ 45,000	値上がり
関西	大阪	44,000 ~ 45,500	値上がり
	姫路	44,500 ~ 47,000	値上がり

## 日本国内の鉄スクラップ市場、値上げ広がり1,000円どころ上伸

日本国内市場の鉄鋼メーカー筋の間に21日以降、鉄スクラップ購入価格を値上げ改定する動きが広がった。値上げ幅は1,000円どころ。全国的に一斉に値上げ改定が広がったのは昨年11月下旬以来。この値上げ改定でH2炉前実勢価格の上値は45,000円に達した。

国内市場の鉄スクラップ需給は、粗鋼減産による需要減の一方、発生薄による供給減、輸出増などで均衡した状態を保っている。そうした状況の中で、米国の国内鉄スクラップ相場が急伸し、海外相場が堅調な展開となった。これを受けて、関東鉄源テnder、中部鉄源テnderが国内相場を上回る高値落札となったほか、新規輸出商談価格も国内相場を上回る水準に達した。

こうした状況を受けて、東京製鉄が2月21日、全拠点の鉄スクラップ購入価格を1トンあたり1,000円値上げした。さらに他の国内電炉がこの動きに同調し、500円値上げにとどめた電炉筋が一部あるものの、国内相場は概ね全域で1,000円上伸する動きとなった。引き続き堅調な相場展開が予想されるが、海外・輸出相場が牽引する相場上伸のため、今後の為替動向が注目される。

## 東日本 東北500円、その他1,000円上昇

東日本の各地区では、2月21日以降に期間契約筋を除くメーカーで購入価格の値上げが進行した。メーカー各社は東京製鉄の値上げに同調して入荷量を維持する姿勢を取った。電炉の減産基調が続き域内消費量は低迷しているものの、発生薄や浜値の先行高で南関東を中心にタイト感が漂っている。関東地区のH2炉前実勢価格は44,000～45,000円中心。H2浜値は44,500～45,500円中心、神奈川・川崎が4万5000～5500円中心。

## 東海 21日から1,000円どころ上伸 新断値上げ先行

東海市場の需要家筋が21日、鉄スクラップ購入価格を値上げ改定した。20日時点で特殊鋼電炉2社と高炉1社が新断(高炉はシュレッターも)の1,000円の値上げ改定を実施し先行高となっていたが、さらに他の電炉筋が21日から東京製鉄の値上げに追随し、全品種を1,000円値上げ(一部新断据え置き)。また特殊鋼電炉2社も新断以外の品種の値上げ改定を実施した。H2炉前実勢価格は44,000～45,000円中心。

## 西日本 姫路以西 21日の東鉄上げに概ね追随の動き

東京製鉄は21日から全拠点で一律1,000円の値上げを実施したことで、岡山および九州工場の特級買値4万5000円へと切り上がり、24年9月以来の水準へと回復した。このため姫路以西の鉄スクラップ市況は一部除いて続伸。ただ需要面のバラつきが解消してこないため、目先も輸出市場や東京製鉄の動向次第の展開といえそうだ。H2炉前実勢価格は、大阪が44,000～45,500円、姫路が44,500～47,000円中心となっている。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、2月24日午後時点のもの)

09

## 自動車リサイクル促進センターより 自動車リサイクルシステム計画停止日一覧

自動車リサイクルシステムメンテナンスのため、以下のとおりシステムを停止させていただきます。

停止日		※1	※2	停止日		※1	※2
2025年12月	30日(火)・31日(水)	○		2026年 8月	16日(日)		○
2026年 1月	1日(木)・2日(金)・3日(土)	○		2026年10月	18日(日)		○
2026年 2月	15日(日)		○	2026年12月	30日(水)・31日(木)	○	
2026年 5月	3日(日)・4日(月)・5日(火)	○		2027年 1月	1日(金)・2日(土)・3日(日)	○	
2026年 6月	21日(日)		○	2027年 2月	21日(日)		○

※1. 全システムが停止します。

※2. 全システムが停止します。(リサイクル料金検索、使用済自動車処理状況検索、関連事業者検索を除く)

詳細は[こちら](#) (JARC HP)

## 編集後記



来る日も来る日も、売り上げだ、コストだ、利益だ、雇用だと追まられる毎日。正直、うんざりすることも多い今日この頃です。

そんな中、ふと周りを見渡すと「後期高齢者」と呼ばれる方々が、元気に働いている姿を数多く見かけます。頼もしい限りです。

後期高齢者と聞くと、最近は「免許返納」と言う言葉が思い浮かびます。

単に高齢という理由だけで、周りの人達は返納を勧めがちですが、実際に免許返納したら自分の生活はどうになってしまうのかと考えると不安を感じる方も少なくないのではないのでしょうか。このところ「高齢者の運転事故は多い」、「高齢ドライバーは危険」というイメージが広がっています。しかし、年齢だけで運転を制限すべきだという統計的な根拠は示されていません。

一昨年の筑波大学の研究発表では、「高齢運転者が事故を起こすリスクは、若年者よりも低い」との報告もあります。いずれ、元気でいれば免許返納の日も来るでしょう。それまでは安全運転を心がけて、運転できることに感謝しながら、自動車とともに歩んでいきたいものです。

広報部会長 田村 幸男

## 3月の主な活動予定

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

- 2日(火) | 第65回合同審議会(対面・WEB) / 自動車リサイクル推進会議(対面)
- 3日(水) | 第4回ブロック長会議(対面・WEB)
- 4日(木) | 未来部会主催 WEB 勉強会(WEB) / 自動車リサイクル士更新講習会(5回目)
- 10日(火) | 第3回理事会(WEB)      12日(木) | 東北ブロック会議(対面)
- 18日(水) | 第23回業界景況調査(～3/31まで)
- 19日(木) | J-FAR(インセンティブ制度実装事業)定例会(対面・WEB)  
J-FAR(実態調査事業)定例会(WEB)
- 26日(木) | 第12回広報部会(WEB)

編集・発行責任者

一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
広報部会長 田村 幸男

お問い合わせ先

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目11-3 虎ノ門アサヒビル3階  
TEL:03-3519-5181 FAX:03-3597-5171 MAIL:jaera-homepage@elv.or.jp HP:https://www.elv.or.jp

